

第124期 中間報告書

2021年4月 1 日から
2021年9月30日まで



日本甜菜製糖株式会社

証券コード：2108

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は終息が見えない状況にあります。当社グループは新型コロナウイルス感染症の拡大防止と事業継続の観点から、役職員の健康管理を徹底した上で、不要不急の出張等を見合わせるとともに、一部事業所において時差出勤と在宅勤務を実施、役職員の出勤を抑え、感染リスクの低減に努めております。

さて、当社は去る9月30日をもって第124期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)を終了いたしましたので、ここにその事業の概況等をご報告申し上げます。

2021年12月

取締役社長 **恵本 司**



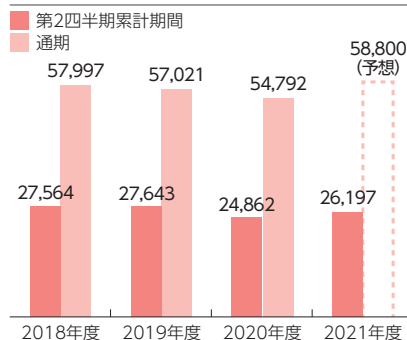
当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んでいるものの、感染拡大の懸念から依然として厳しい状況が続いております。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好を背景に、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などにより砂糖消費量は減少傾向にありますが、

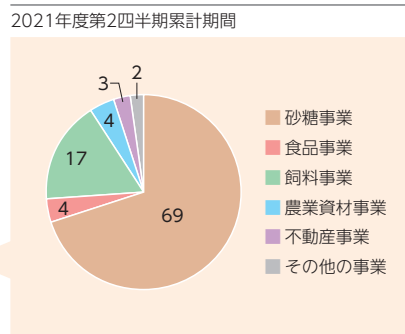
新型コロナウイルス感染症は更に砂糖消費に悪影響を与え、2021年9月に農林水産省が公表した「砂糖及び異性化糖の需給見通し」は、2021年10月から1年間の分蜜糖消費量を174万トンと見込み、一昨年10万トン落ち込んだ前年同時期の消費見込を更に2万トン下回る見込みです。

粗糖の国際相場は、ブラジルなどの主産地の天候不

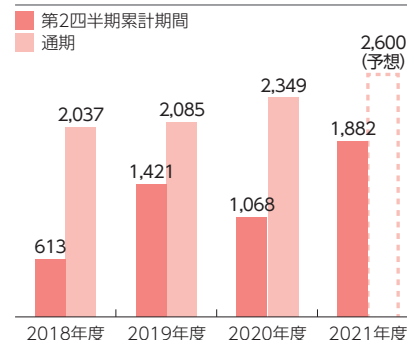
売上高 (百万円)



売上高構成比 (%)



経常利益 (百万円)



順や海上運賃の上昇などを背景に上昇し、8月に1ポンドあたり20セント台を記録するなど高い水準で推移しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により不安定な動きも予想されます。

このように、消費の落ち込みや砂糖価格の動向など、情勢は極めて不透明であります。当社グループは引き続きコスト削減を進めるとともに、販売努力を続け、収益力の確保に取り組んでまいります。

2021年1月15日に公表いたしました当社、三井製糖(株)及び大日本明治製糖(株)との間の資本業務提携に則り、持分法適用関連会社である関門製糖(株)の当社保有株式の全てを大日本明治製糖(株)に譲渡しました。この株式譲渡に伴い6億7千5百万円の関係会社株式売却損を特別損失に計上しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、主に砂糖事業及び飼料事業の売上の増加により、前年同期比5.4%増の261億9千7百万円となり、経常利益は、砂糖事業の損益改善により、前年同期比76.2%増の18億8千2百万円となりましたが、持分法適用関連会社の株式売却損の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比8.8%減の6億5千2百万円

となりました。

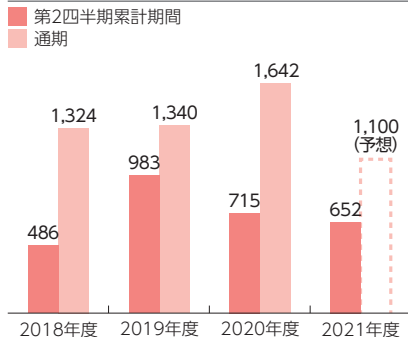
2021年産の原料てん菜による製糖作業は10月上旬より開始しました。本年のてん菜は、高温小雨により一時干ばつ傾向でしたが、8月の降雨で干ばつは解消され、病害虫の発生も少ないことから概ね良好な生育で収穫期を迎えております。製糖にあたっては、高品質な原料の確保、高効率な製糖作業に努め、コスト削減を図ってまいります。

また、当社グループは2021年3月期から3年間の「第1次日甜グループ中期経営計画」を策定し、本年は2年目となります。砂糖事業は国内砂糖消費量の急激な減少が砂糖販売に与えた影響が大きく厳しい状況にありますが、引き続き当社グループの社是である「開拓者精神を貫き、社会に貢献しよう」のもと、てん菜・てん菜糖事業の継続を図るとともに、更に各事業を成長させ、砂糖事業・不動産事業に続く第2の柱を構築し、社会的責務を果たすよう取り組んでまいります。

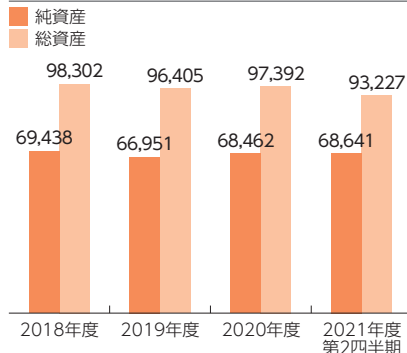
※決算状況、資本業務提携の進捗状況等の詳細は2021年11月9日に当社ホームページにて公表いたしました2022年3月期第2四半期決算補足説明資料をご覧ください。

https://www.nitten.co.jp/financial_results.html

親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)



純資産/総資産 (百万円)



北海道網走郡津別町 ビート畑



セグメント別の概況

砂糖事業

事業内容 | ビート糖、精糖、
ビート糖蜜、精糖蜜 等



■ ビート含蜜糖



■ 北海道オホーツク
ビートグラニュー糖

ビート糖は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前期大きく落ちこんだ販売量は清涼飲料向けや外食向け等の業務用に回復が見られ、売上高は前年同期を上回りました。

精糖は、家庭向けの販売量が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

砂糖事業の売上高は、181億1百万円(前年同期比5.5%増)となり、営業利益は、ビート糖の販売量の増加や経費削減等により、10億4千1百万円(前年同期比171.1%増)となりました。

食品事業

事業内容 | イースト、オリゴ糖等食品素材
(オリゴ糖、ベタイン 等)、
その他食品



■ 北海道どさんこオリゴ



■ 北海道ビートな
シュガープラス

イーストは、家庭用イーストの巣ごもり需要が一段落し、売上高は前年同期を下回りました。

オリゴ糖等食品素材は、ラフィノースやフラクトオリゴ糖の販売量が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

食品事業の売上高は、11億1千9百万円(前年同期比1.6%増)となりましたが、製造原価の上昇等により、3百万円の営業損失(前年同期は9百万円の営業利益)となりました。

飼料事業

事業内容 | 配合飼料、
ビートパルプ 等



■ ニッテン元氣玉
通信販売を開始しました。
機能性のある牛用サプリ等を販売
しております。
ニッテン配合飼料ネットショップ
<https://nitten-feed.stores.jp/>

配合飼料は、搾乳ロボット用飼料やオリゴ糖を配合した飼料の販売量が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

ビートパルプは、販売量が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

飼料事業の売上高は、44億8千5百万円(前年同期比8.9%増)となり、営業利益は、経費削減等もあり、1億7千1百万円(前年同期比69.7%増)となりました。

農業資材事業

事業内容

紙筒（ペーパーポット®）、
農業用機械器具、
農業資材、種子 等



■ ロール式播種機 FSS-4 (4畦)、FSS-6 (6畦)
てん菜種子または大豆種子の直播と二種類の肥料の施肥を行うことが可能です。
(子会社 サークル機工(株)が製造・販売しております)

紙筒（移植栽培用育苗鉢）は、そ菜用の販売量増加により、売上高は前年同期を上回りました。

農業機材は、移植機等の売上が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

農業資材事業の売上高は、11億7千5百万円(前年同期比2.9%減)となり、販売費の増加等により、2千7百万円の営業損失(前年同期は2千9百万円の営業利益)となりました。

不動産事業

事業内容

不動産賃貸 等



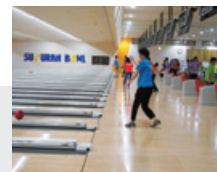
■ イトーヨーカドー帯広店
帯広市稲田町南8線西10-1

不動産事業の売上高は、ほぼ前年同期並の7億6千5百万円となり、営業利益は、経費削減により、4億7千4百万円(前年同期比14.7%増)となりました。

その他の事業

事業内容

貨物輸送、石油類販売、
書籍販売、スポーツ施設営業 等



■ 帯広スズランボウル
(スズラン企業(株))
帯広市稲田町南8線西12-1

その他の事業の売上高は石油類の販売価格上昇等により、5億4千9百万円(前年同期比7.8%増)となり、営業損失は1億2千万円(前年同期は1億3千1百万円の営業損失)となりました。

財務諸表及びご案内

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	前期末 2021年3月末現在	当第2四半期末 2021年9月末現在
資産の部		
流動資産	47,714	44,648
固定資産	49,677	48,578
有形固定資産	24,293	24,583
無形固定資産	344	325
投資その他の資産	25,040	23,668
資産合計	97,392	93,227
負債及び純資産の部		
流動負債	18,270	13,974
固定負債	10,660	10,612
負債合計	28,930	24,586
純資産合計	68,462	68,641
負債及び純資産合計	97,392	93,227

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	前第2四半期 2020/4/1~2020/9/30	当第2四半期 2021/4/1~2021/9/30
売上高	24,862	26,197
売上原価	17,358	18,688
販売費及び一般管理費	6,638	5,908
営業利益	866	1,600
営業外収益	320	369
営業外費用	118	87
経常利益	1,068	1,882
特別利益	—	4
特別損失	20	689
税金等調整前四半期純利益	1,048	1,197
法人税等	332	544
四半期純利益	715	652
親会社株主に帰属する四半期純利益	715	652

日本甜菜製糖株式会社

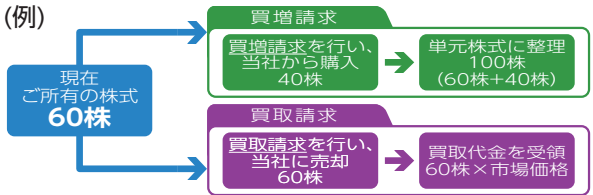
ホームページ <https://www.nitten.co.jp/>

単元未満株式の買増 及び買取制度のご案内

当社の株式は単元株式数(売買単位)を100株としておりますので、100株に満たない株式(単元未満株式)は市場では売買することはできません。

単元未満株式は買増請求または買取請求することができますので、ぜひご利用ください。

(例)



・買増請求または買取請求をする際には、下記<株式に関するお問い合わせ先>にお問い合わせの上、お手続きください。

<株式に関するお問い合わせ先>

当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合

お取引の証券会社等にお問い合わせください。

当社株式を証券会社等の口座にお預けでない
(特別口座に記録された) 場合

三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)に
お問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 [通話料 無料]
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日等を除く)

特別口座からの振替のお手続きはお済みですか？

特別口座に記録された株式は、単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増請求を除き、売買や譲渡等のお取引を行うことができません。

特別口座から証券取引口座への振替をご希望の株主様は、三菱UFJ信託銀行証券代行部へお問い合わせの上、お手続き願います。

